

第8回新居浜市総合文化施設建設委員会(全体会) 会議録

1. 日時	平成 26 年 11 月 19 日 (水) 14 : 00～15 : 30
2. 場所	市民文化センター別館 1 階 第 7 中会議室
3. 出席者	<p>委員 松久勝利 (委員長)、山本光博 (副委員長)、坂上公三 (副委員長) 石川猛、伊藤公一、宇野貴美恵、合田定子、加藤哲、武田信之、 田邊憲司、直野由美子、福本美喜和、藤田優</p> <p>アドバイザー 高見知佳、曾我部清典</p> <p>総合文化施設準備室 参与 山野英嗣 総合文化施設準備室 主幹 菅春二 係長 土岐幸司 学芸員 井須圭太郎</p> <p>指定管理者候補者 新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループ 長谷川辰也 伊藤直人</p> <p>開館準備支援業務 受託者 堀孝 忽那あゆみ</p>
4. 欠席者	安孫子尚正、伊藤嘉秀、篠原雅士、好井和樹
事務局	<p>開会挨拶</p> <p>●事務局代表／山野参与よりご挨拶</p>
山野参与	<p>本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。前回に引き続き、後方では、指定管理者候補者の方にもご出席をいただいております。またアドバイザーとして、高見知佳さん、曾我部清典さんにもご同席いただいております。皆様、最後までご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>それではこれからの進行は松久委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>●本日の議題とスケジュール</p> <p>議題 1. 施設の愛称選定について 議題 2. その他</p>
松久委員長	皆さんこんにちは。今回は先月であり時間が経っておりませんが

	<p>も、今日は総合文化施設の愛称について審議するという事で纏まったようですので、議題として取り上げております。これまでの経緯については、委員の皆さんはご存知かと思えますけれども、今回は8回目になります。お手持ちの資料として、これまでの経緯が簡単に項目だけでもまとめております。3年を超える議論でして、遡って説明すると長くなりますので、一通りご覧いただいて、お気づきの点がありましたら後でご指摘いただければと思います。前回につきましては、先ほど紹介がありましたように、指定管理者の選定についてご報告をいただきました。また建設工事の経過について、アベノミクスの影響等で資材の調達が困難という状況もあり、工期が遅れるということで、来年3月竣工の予定を、7月中に変更してオープンしたいというご説明が事務局のほうからございました。</p> <p>そして、この施設の愛称を決めましょうということで、市内小中高の生徒さんたちに愛称を応募いただいたという経緯説明がありまして、それに基づいて意見交換をいたしました。色々な意見をいただいた上で、それぞれの意見を踏まえながら委員の皆さんに判断いただくということで、11月12日締切だったと思いますが、一次選定をいただいたかと思えます。今日はそれを受けて施設の愛称選定についてという議題でご審議いただきたいと思えます。これについては、事務局から現状の説明をお願いいたします。</p> <p>●議題1</p> <p>事務局</p> <p>前回の委員会から一ヶ月が過ぎましたが、お忙しい中、愛称の一次選定にご協力いただきありがとうございます。集計結果についてご報告する前に、お手元の資料をもとに愛称選定の流れについてご説明をいたします。本日の委員会においては、案として3作品程度絞り込みをさせていただきました、そのあと市長のほうに答申をいただきたいと思っております。その後、市議会への報告を経て、正式に愛称を決定し、決定後は報道やHP等で発表いたしまして、今後の広報活動に使用していきたいと考えております。最終的に決定した応募者については、来年の開館記念式典において、招待・表彰を行いたいという形で考えております。</p> <p>松久委員長</p> <p>前回、投票を踏まえてこの委員会で最終決定するというような説明がございましたが、そこの手続きが少し変わったということで、この委員会は諮問を受けて答申するという性質の委員会でございますので、ここで最終決定ということにはならないということです。そういう形で、先ほど手続きの説明がありましたように、本日これから愛称案を絞り込み、それを市長に報告して、市議会にも報告するという流れの中で決定していくということでござい</p>
--	--

<p>事務局</p>	<p>ますが、最終決定は市長の責任において決めるということになりますか。</p> <p>委員会で決定というの、委員の皆様方に責任がかかるという部分もありますので、最終的には市長が決定ということになりますけれども、その前に建設委員会の皆様に後押しをいただいているというご確認をいただくと、有難いと思っております。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>そういう形で、前回いただいていた説明と若干異なる手続きとなりますが、説明責任という問題も含めて、本日この委員会としては一次選定による絞り込み、さらに絞り込んだ候補に関する意見交換ということで、我々の責任を全うしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは続けて事務局のほうから、ご説明をお願いいたします。</p> <p>一次選定の集計結果について、お手元の資料をご覧くださいと思いますが、各委員の皆様から3作品選んでいただきました結果、35作品がリストアップされました。審査合計ポイントと書いてある部分が、1位5ポイント、2位3ポイント、3位1ポイントということで、集計したポイント数です。結果「あかがねミュージアム」が29ポイントで他の作品と大きく差をあけております。続きまして「あかがね館」が8ポイント、「あかがね文化ホール」が6ポイントということで、続いております。一番右側に選定した審査員数という欄がございますけれども、1～3位のいずれかに審査員の方がお選びいただいた数という形になります。なお1位で複数選んでいただいているのは、「あかがねミュージアム」だけとなります。また「あかがね」という名称が入っている候補が最も多いということと、名称的には「ミュージアム」という言葉が多く選ばれているという状況です。選定理由の中にも、複合施設なので、「ホール」、「美術館」という名称はふさわしくないのではないかという意見もございました。また参考ですけれども、小学生から高校生の皆さんに選んでいただいた結果得票数で最も多いのは、「新居浜ミュージアム」でした。</p>
<p>山本副委員長</p>	<p>少し聞き逃したんですけれども、「あかがねミュージアム」について、審査員の中で1位にしていた人は何人いたんですか。</p>
<p>事務局 松久委員長</p>	<p>1位が5人です。あと4名の方が3位に選んでおります。</p> <p>質問が出ましたので、意見交換に入ってよろしいですね。今の事務局の説明に対して、ご質問・ご意見ございませんか。ここで決定するというのではないので、気楽に意見を出していただけたらと思います。高見さんは何かございますか。</p>
<p>高見知佳</p>	<p>意見ではないですが、皆さんが応募いただいた作品は全部拝見させていただきました。その中で「あかがねミュージアム」というのは、どこか浸透しやすい響きのあるものだと感じました。ただ、私たち新居浜の人たちだと、</p>

<p>松久委員長</p>	<p>「あかがね」と言えば銅ということでわかりやすいんですけども、他の人たちから見たらどうなのかということと言うと、逆にこれでいいのかなとは思いました。あかがねというのは銅のことなんだということで、実際に銅板も貼っていますし、それを発信して色々なところに伝えていけば良いのではないかとも思いました。</p> <p>ご指摘がありましたように、あかがねミュージアムというのは当初この文化施設の設計段階から仮に使われていた名称ですので、我々もどこかにインプットされている部分もありますし、前回の委員会でも「あかがね」という言葉をどこかに使いたいというご意見もございました。その辺りについては、色々な受け止め方があると思いますので、ご忌憚のない意見をお出しただけであればと思います。</p>
<p>山本副委員長</p>	<p>「あかがね」という言葉は、建物の外観にも使われていますし、ある程度市民の方にも認知されているのではないかと思います。馴染みやすいということもあるし、銅文化を全国に発信していけるということもあります。一方で、ホールなのかミュージアムなのかということですけども、一般市民の感覚からすると、ミュージアムというちょっと硬い感じがします。ホールのほうが、中に色々な施設があるということで捉えやすいのではないかとも思います。名称としてはミュージアムでも良いと思いますけれども、取っつきやすさという点では、ホールのほうが良いかなという気がします。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>この委員会はここで決定するというものではありませんので、好きに様々な意見を発言いただいて結構でございます。</p>
<p>曾我部清典</p>	<p>いま「あかがね」・「ミュージアム」という言葉を調べていたんですけども、商工会議所のホームページ作成サービスでは「あかがね」という名称が使われていたり、新居浜でも「あかがね」という言葉は浸透しているんじゃないかと思います。もう一点ミュージアムを調べましたら、博物館・資料館とあります。科学的・歴史的・芸術的に価値のあるものを収集し、展示する場所がミュージアムであるということで辞書には記されています。そういう意味では、美術館の部分がミュージアムに該当するというのではあるんですけども、それで考えたのは「あかがねアートセンター」とかいった考え方もあって、ミュージアム部分とホール部分、工房等が一体となった言葉を下につけるということも、案としてはあるのではないかとも思いました。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>ありがとうございます。ミュージアムという言葉は、美術館だけではなくて太鼓台についてもあてはまりますし、郷土関係の資料等も含まれますので、そういう部分もミュージアムということになるかも知れません。</p>
<p>曾我部清典 高見知佳</p>	<p>そういう意味で、歴史的・芸術的な価値のあるものということですね。少し別の意見ですが、「館」という言葉について、ここでも「あかがね館」</p>

松久委員長	<p>という候補については、何か宿泊施設のような感じがして、少しイメージしにくい部分があるのかなと思いました。</p> <p>言葉というのは共通のようであり、一人一人受け取る感覚が違いますので、ホールという言葉にしてもダンスホールとか別のホールのあり方を浮かべる人もいるかもしれませんし、個人差があるかもしれませんね。ただここでは、自由に色々な意見を言っていて良い時間ですので、気楽にいろいろのご意見をいただければと思います。</p>
田邊委員	<p>設計された方は、どういうイメージで作られたかというのはあるのでしょうか。独特な形ですから、その辺りについて、設計された側の意見というのも参考にお聞きしてみたいと思います。確かに「あかがねミュージアム」というと、ありきたりなイメージがありますけれども、これまでずっと使ってきておりますので、インプットされてますから、一般の方から聞かれても正確にお答えできないという部分もあります。</p>
松久委員長	<p>今日は設計された方がいらっしゃるけれども、ご意見を伺ってみますか。</p>
長谷川	<p>私共トータルメディア開発研究所では、設計段階から日建設さんと一緒にさせていただきまして、建築と展示を合わせて、総合設計という形で担当させていただきました。その際に、当初お受けした時には、「あかがねミュージアム」ということで、具体的に検討してまいりましたけれども、新居浜市さん、あるいは建設委員の皆様からもご意見を伺いながらまとめていく中で、二つ言葉を出させていただきました。一つは「森の中のミュージアム」ということで、駅前の場所でございますけれども、これから計画を進めていって植栽が施されますけれども、緑を重点的に整備して、森の中のミュージアムということで、想像力が掻き立てられるようなことがコンセプトの一つとしてあります。また活動面におきましては、「アートフォーラム」という言い方をしました。フォーラムとは、広場とか公共の場という意味ですけれども、広場のような形で活動がそこから広がっていくというイメージを込めて、ハードと運営の二つの部分でコンセプトを検討した次第です。</p>
松久委員長	<p>オブザーバーとして参加されている中で、質問がありましたので振らせていただきましたけれども、いまのご説明に関連してでもいいですし、先ほどの田邊委員のご質問と関連しても結構でございます。私も田邊委員と同感なのは、「あかがね」という言葉が我々の中にインプットされているということで、その上で前回の委員会で「あかがね」という言葉についてあらためて議論するような意見交換があったということですね。</p>
宇野委員	<p>子どもたちの作品をみていると、全体的に新居浜という言葉が大事にしているなと思いました。また色々なものが含まれているという意味では、ミュ</p>

<p>松久委員長</p>	<p>ージウムという言葉も、若い人たちへの響きとしては良いのではないかなとも思います。わかりやすさもいいですが、親しみやすさを感じさせるものが良いのではないかと思います。</p> <p>ミュージウムという言葉の語源は、学芸を司るムーサイという9人の女神がいて、それがアテナイに仕えるという所からきております。当時のアートは、美術音楽だけではなく、色々な分野、芸芸全般を含む概念ですので、そういう意味では演劇、詩作、舞踊、武道など、幅広い芸芸について、ムーサイが信号を送って、それがインスピレーションになってという概念の経緯もございまして、本来はいま一般的に使われているミュージウムのように、狭い概念ではなく、人間の営み全般を表すということです。</p>
<p>直野委員</p>	<p>ミュージウムという言葉は、人が集まって色々な広がりがあるということで、「あかがねミュージウム」というのは覚えやすいですけども、「あかがね」という言葉ではなくても、「ミュージウム」という言葉はどこかで入って欲しいなと思います。そこで大人も子どもも集まって、色々なもの・ことが広がるというイメージで議論してきたので、楽しく明るくて、光が入ってくるような名前がいいかなと思います。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>言葉というのは人それぞれ捉え方に違いがあって、それを強引にまとめるというのもどうかと思いますけれども、一応ここで3点程度に候補作品を絞って答申するということを求められているようですから、意見交換した上で3つぐらいには絞りたいと考えております。その上で、どのようにして3点に絞るかということですけども、いかがいたしましょうか。絞り方についてのご意見をいただければと思います。</p>
<p>山本副委員長</p>	<p>まずは「あかがね」を入れるかということですかね。</p>
<p>高見知佳</p>	<p>あと「ホール」という言葉をどうするかという問題もありますね。複合施設だから、ホールだけが名称につくのはどうかという意見もありますよね。</p>
<p>曾我部清典</p>	<p>ホールというと、音楽ホールのイメージが強いですね。複合施設の場合はさっき仰ったフォーラムとか、ミュージウムとか、センターといった言い方が多いかなと思います。</p>
<p>高見知佳</p>	<p>先ほど緑を増やしてという話がありましたけれども、私は「あかがねの森」もいいなと思いました。今はまだ木はないですが、将来的に植物が増えていくようでしたら、「あかがねの森ミュージウム」などもいいのではと感じます。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>今回は施設の愛称について話をしていますけれども、正式名称としては総合文化施設になるわけですね。そういう意味では、センターとか、ミュージウムといった固い言葉は要らないかもしれないですね。やわらかな響きのものが良いのではないかなという気もいたします。</p>

高見知佳 曾我部清典	ただ表に立って出るのはこちらの愛称のほうですね。 愛称というのは逆に、本来みんなが使っている中で愛称になるというものですよね。
福本委員	例えば警察の横に、総合福祉センターというのがあるんですけども、あそこも正式名称は福祉センターですが、私たちは「ふれあいプラザ」と呼んでいます。ですので「福祉センターどこですか」と聞かれると、福祉センターなんてあったかしらとってしまう。愛称と正式名称が浸透して、一致するまでには少し時間がかかると思います。
事務局 高見知佳	正式名称としては総合文化施設と新居浜市美術館になります。 それを一つにして、愛称で呼ぶということですね。そういう意味では、愛称が「顔」になるということですね。
松久委員長	前回の委員会で、選定を行うにあたって新居浜市内の子どもたちから愛称を応募するというのを、市長のご意向があって行ったということで、愛称をどう扱うかという時に、この委員会で愛称をアレンジするという意見も出たんですが、子どもたちから応募があって、その中から決めるという手続きで進められている以上、委員会の中で大人が変更するというのはいかがなものかという議論もありました。そこで、やはり子どもたちの応募作品を尊重しましょうという話が、一次審査前の合意としてありました。ですので、その議論を踏まえて投票いただいたということですので、一度委員会として合意ができた事柄がありますので、委員長としてはそれを尊重したいと思います。また前回の議論をふまえて、一次審査・投票という手続きをいただきましたが、その投票結果についても尊重すべきであると思います。そういう意味では、非常に平凡ですけども、投票結果を踏まえて上位3つを選定するというのはいかががでしょうか。ただ付帯意見として、ここに出た意見を事務局のほうから市長にご報告いただくということで、最終的には市長がお決めになりますので、その意見をふまえて何らかの変更を加えるのはあり得るかもしれません。
曾我部清典	4位以下が5点で同列ですので、3位までで区切るというのも納得できるかと思います。
松久委員長	それでは、付帯意見として、これまでの委員会で出た意見を伝えていただくということで、上位3つを候補として答申してみてもどうだろうかと思います。
曾我部清典	この名前は、どういう風に使われるんですかね。建物の外観などにも明記されるのですか。
事務局	まだ確定ではないですが、「あかがねミュージアム」ということであれば、今後広報チラシなどにおいて、使用されていくかと思います。建物について

<p>曾我部清典 松久委員長</p>	<p>は、補助金等の関係があって、正式名称での表記が必要になってくるのではないかと思います。その辺りはサイン計画の中で、併記するようなイメージも含めて検討していきたいと考えております。</p> <p>愛称が市民の皆さんに定着するものなることが重要だと思います。</p> <p>定着までは時間経過が必要になりますね。しばらく経過を見ないといけませんね。本当は自然発生的に決まるのが良いのでしょうかけれど、広報の際に必要なというニーズの問題もありますので、難しい所ですね。ただ子どもたちから挙がってきた名称ですので、お仕着せという感覚は持たなくてもいいのではないかと思います。</p>
<p>武田委員</p>	<p>「あかがね」という言葉は、他の地区では使えない新居浜独特のもので、浸透していなくても、これから伝えていくことができますので、「あかがね」のほうが広がりがあるように感じますね。</p>
<p>山野参与</p>	<p>私たち内部でも、例えば電話がかかってきた時に、愛称で受けるのか、正式名称で受けるのかといったことも話に出たりしましたがけれども、施設の知名度があがっていけば、愛称が正式名称のような形で浸透していくのではないかと考えております。例えば、パリのポンピドゥ・センターは、本来正式名称はフランス国立近代美術館ですが、皆ポンピドゥ・センターと呼んでいる。そういう形で、私たちが呼びやすい名称が定着していくのではないかと考えています。また当施設は世界に発信していきたいと考えていますが、英文表記にした場合にも、AKAGANE という言葉を固有名詞として打ち出していけば良いのではないかと考えています。そういう意味で、愛称ではありますけれども、重い意味を持っているのではないかと考えています。</p>
<p>曾我部清典 高見知佳</p>	<p>「あかがね」を世界の言葉にしていくということですね。</p> <p>あかがねは、色で言ったら銅をイメージしますけれども、そこから世界に広げていくということは良いことだと思います。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>愛称にもいろいろな側面があって、色々な使い方がありますがけれども、愛称がほとんど本称になるということもあるというお話もいただきました。また美術館が柱になっておりますが、その他ホールの活動も世界に発信していく時の旗印として「あかがね」という言葉を使いたいという事務局側のお話もありました。そういう意味では、「あかがね」という言葉は入れたいということで、よろしいでしょうか。その後については、投票結果が出ておりますので、そちらを答申したいと思っております。</p>
<p>山本副委員長</p>	<p>「あかがね」という言葉を含めて、他の部分については色々な意見を検討していきたいと思っております。子どもたちの意見が尊重されるのが一番良いのではないかと考えています。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>投票としては上位3位を推薦するということでしたけれども、ポイント数</p>

<p>事務局</p>	<p>としては4位以下に5ポイントというものが11点並ぶ訳ですけれども、上位3点の報告に付随して、こういうものも4位5ポイントで複数ありましたということを報告するという事は出来ると思います。そうした形で、最終的に市長のほうで決定いただくということでいかがでしょうか。我々としては、この辺りで役割を果たせたのではないかと思います。</p> <p>会議の正式議題としては以上ですが、その他として何かございますでしょうか。</p> <p>冒頭にて委員長がおっしゃられました建設のスケジュールについて少し補足をおきますと、現在設計・建設の方々と協議して、一日でも早く完成させるということで進めておりますけれども、我々の現在の案としては7月20日前後のオープンを予定しております。今後そういったことが、市民の皆さんに伝わるかと思っておりますので、事前にこの場で皆様にもご報告をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>松久委員長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、これにて第8回建設委員会を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">終 了</p>

